事業番号

								0083
		平成27年度行	」政事業し	ノビュ・	ーシート(鳫	厚生労働省)
事業名	医療安全支援センター総合支援	事業	担当	部局庁	医政局		1	作成責任者
事業開始年度	平成13年度 事業	終了 的 年度 終了予定な	担:	当課室	総務課 医療安	7全推進室	室長:	大坪 寛子
会計区分	一般会計		政策	·施策名	Ⅰ-3-2 图	逐療安全確保対策	策の推進を図る	ること
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	_			る計画、 知等		医政0329第17 合支援事業委詞		度医療安全支 ついて」
主要政策・施策			主導	E経費	その他の事項組	圣 費		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)					道府県等に設置され	れている医療安全	支援センターでの	の相談業務を行う相
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	(1)医療安全支援センター相談(2)医療安全支援センター協議(3)教訓的事例に関する情報では)全国の医療安全支援センタ	養会を開催し、相談員の情 を収集し各医療安全支援も	報交換		青報提供			
実施方法	委託·請負							
		24年度	25年度		26年度	27年	度	28年度要求
	当初予算	24	23		23	23		
	補正予算	_	_		_	_		
	予算が年度から繰越し	_	_		_	-		
予算額 · 執行額	の状況翌年度へ繰越し	-	_					
(単位:百万円)	予備費等	_	_		_	_		
	計	24	23		23	23	1	0
	執行額	24	23		23			
	執行率(%) 100%		100%		100%			
	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度
成果目標及び成 果実績			成果実統	か所	104	107	108	
	都道府県及び保健所設置 市区センターを設置する。		1 目標値	か所	139	140	141	141
			達成度	%	75%	76%	77%	
よ 田 口 悟 ひょくよ	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度
成果目標及び成果実績			成果実統	か所	268	273	272	
(アウトカム)	二次医療圏センターを設置 する。	二次医療圏センター設 (前年度以上)	直数 目標値	か所	269	268	273	272
			達成度	%	100%	102%	99%	
活動指標及び活	活動	指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
動実績	医療安全支援センター相談	一番に対する研修の関係	崔 活動実績	i 🗓	7	12	10	
(アウトプット)	※26年度は集計中	当初見込む	· □	10	15	15	10	
活動指標及び活				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
動実績 (アウトプット)	医療完全支援おいた―知歌	医病中人士性上之为,也可以是然后共生之死的。		i 人	727	719	666	
	医療安全支援センター相談員等に対する研修の参加者			→ 人	650	700	743	666
注新比博 15.70年	活動	 指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
活動指標及び活動実績	医皮克士拉克 5 也就	J. 大米市	活動実績	· 件	103,852	93,604	_	
	医療安全支援センター相談 ※26年度は集計中	IT	当初見込む		101,685	103,852	93,604	-
	算出	根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
				円	60,024	55,261	55,021	50,360
単位当たり コスト	び保健所設置市センター設設では、 設設では、 ※研修以外の事業にかかるできまってである経費がまとまってである。 切り分けることが困難である。	置数+二次医療圏セン 置数 6執行額は、いくつかの 計上されており、それぞ	ター 事業 れを 計算式 とそ		22,329千円/372か所	20,999千円/380か所		20,799千円/413か所
	10分パこして千世のだ。	ノーハーで井山している。						

		算出根拠 単位 24年度		24年度	25年度	26年度	27年度見込			
単	以ョにり ┃ マダもに蛟/かんによよっまの、/左连の人士様に、┃		単位当たりコスト	円	2,546	2,682	3,675	3,675		
	コスト	ター相談員等に対する研修の参加者数			計算式	X/Y	1,851千円/727人	1,928千円/719人	2,448千円/666人	2,448千円/666人
平成	費目		27年度当初予算	28年度要求			3			
2 7	衛生関係指導者養成等委 託費		23							
位 ₂ <u>:</u> 8										
百年度										
:百万円)										
加										
単		計	23	0						

			事業序	听管部局による点検	∙改善			
		項 			評価	評価に関する説明		
費	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					相談員の養成研修を行い、その資質向上を図ることは、広 く国民のニーズがあり、国費を投入して実施すべき事業で ある。		
投入の必	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					各都道府県に設置されているセンターの相談員の資質向上のための研修等を一定の基準で行うため、国で実施する必要がある。		
要性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い 事業か。					相談員の資質の向上は、医療における国民の様々な疑問に適切に対応するために必要であり、その優先度は高い。		
	競争性が確 ^ん	保されているなど支出先の選定	は妥当か。		-	-		
-	受益者との負担関係は妥当であるか。					総合支援事業の一環としてより多くの参加者を募るため受講生の負担は求めていない。 単位当たりコストは一定の水準で推移しており、その水準		
事業	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					は妥当である。		
の効	資金の流れ	の中間段階での支出は合理的な	なものとなっているカ	ڼ۰°	0	団体における最低限の経費のみが計上されており、中間段階での支出は合理的なものである。		
率性	費目・使途か	「事業目的に即し真に必要なもの	のに限定されている	か。	0	事業目的に照らして真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大	きい場合、その理由は妥当か。	(理由を右に記載)		-	-		
	その他コスト	削減や効率化に向けた工夫は	行われているか		0	研修内容のweb配信を行うなど、コスト削減に向けた取組を行っている。		
事	成果実績は	成果目標に見合ったものとなっ ⁻	ているか		0	成果実績全体で見ると、概ね成果目標に見合ったものと なっているが、設置数には、設置主体毎にばらつきがある ため、引き続き設置率の向上に努めていきたい。		
業の	事業実施に	当たって他の手段・方法等が考	えられる場合. それ	と比較してより効果的				
有	あるいは低=	コストで実施できているか。			-	_		
効性	活動実績は.	見込みに見合ったものであるか	0		0	成果実績は概ね成果目標に見合ったものとなっている。		
		施設や成果物は十分に活用され	-		0	医療安全支援センター設置数が増加することで、より身近 な地域で相談可能となり、全体の相談対応能力が向上す る。		
		業がある場合、他部局・他府省領 体的な内容を各事業の右に記載		き行っているか。(役	-			
関連			事業番号	 事業名				
事業	_	-	_			<u>-</u>		
	_	_	_					
点検・改善結果	国民からの医療に関する様々な相談に対し対応する相談員の資質の向上のための研修を実施することで、人材育成を図る事業であり、国民の医療に対する不安の払拭に資するものである。予算の縮減を行いながらも効率的な運営を実現しており、平成25年度も活動実績を増やしているところである。(26年度の実績は集計中) 本書の方向性 は、より一層相談員の資質の向上に努めるためにさらに多数の研修参加者を募っていく必要があるため、全国の医療安全支援センターに							
		対する呼びかけを強化したい。		外部有識者の所見				
	•		行政事	業レビュー推進チーム	の所見			
			所見を踏まえた	改善点/概算要求に	おける反			
	ţ			 備考				
			日日・士・フ・ロ		の古光で	4 FI		
TT -	世00年中	116		と去のレビューシートの Tog	ル事業番			
4 /F		116 71	平成23年度 平成26年度	96 77		平成24年度 73		
17 E	ソンクローロー							

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 23百万円 国立大学法人東京大学が実施する医療安全 支援センター総合支援事業に対する支援 【補助】 A. 国立大学法人東京大学 23百万円 医療安全支援センター相談員等に対する基礎的・ 専門的研修、ジョイントミーティングの開催。教訓 的事例の収集及び医療機関への情報提供 【随意契約】 B. 株式会社等(2) 10百万円 ウェブサイトの運営管理業務、研修会の運営 支援業務 資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

		A.国立大学法人東京大学			E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	委託費	東京海上日動メディカルサービス株式会社	10			
	賃金	事務補助者等賃金	7			
	旅費	ジョイントミーティング、研修会の講師旅費 等	2			
	借料及び損料		1			
	諸謝金	ジョイントミーティング、研修会の講師謝金 等	1			
	通信運搬費	郵便料金等	1			
	その他	消耗品費、会議費等	1			
	計		23	計		0
	B.東京	海上日動メディカルサービス株式 -			F	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
費目・使途 (「資金の流れ」に	人件費	ウェブサイトの管理運営に係る人件費	6			
おいてブロックごとに最大の金額						
が支出されている						
者について記載する。費目と使途						
の双方で実情が 分かるように記						
載)						
	計		6	計		0
	計	C.		計	G.	
	費目	C. 使 途		計 費 目	G. 使 途	0 金 額 (百万円)
			金 額 (百万円)			
						金額(百万円)
	費目		金 額 (百万円)	費目		金額 (百万円)
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	費目	使 途 D.	金 額 (百万円)	費目	使 途 H.	金額 (百万円)
	費目	使 途 D.	金 額 (百万円)	費目	使 途 H.	金額 (百万円)
	費目	使 途 D.	金 額 (百万円)	費目	使 途 H.	金額 (百万円)
	費目	使 途 D.	金 額 (百万円)	費目	使 途 H.	金額 (百万円)
	費目	使 途 D.	金 額 (百万円)	費目	使 途 H.	金額 (百万円)
	費目	使 途 D.	金 額 (百万円)	費目	使 途 H.	金額 (百万円)

支出先上位10者リスト A.

	Λ.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
Ī	1	国立大学法人東京大学	医療安全支援センター総合支援事業の実施	23	_	_

 В					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京海上日動メディカルサービス株式会社	ウェブサイトの管理運営業務	6	随意契約	_
2	一般社団法人アカデミア・サポート	研修会の運営支援及び調査集計業務	3.5	随意契約	_